

会 議 録

会議の名称	第 2 回 東由利地域協議会
開催日時	平成 2 2 年 1 0 月 2 2 日（金）午後 1 時 3 0 分
開催場所	東由利総合支所 2 階 第 3 ・ 4 ・ 5 会議室
出席者氏名	「出席者名簿」のとおり
欠席者氏名	畠山与一、小松正武、阿部タツ子、石綿喜代隆、大日向与志子、
【会議次第】 1 . 開 会 2 . 会長挨拶 3 . 総合支所長挨拶 4 . 案 件 平成 2 3 年度地域づくり推進事業について ・平成 2 2 年度地域づくり推進事業の実施報告 ・地域づくり推進事業補助金交付要綱の改正について ・平成 2 3 年度地域づくり推進事業の公募状況 ・提案、要望の追加について 5 . そ の 他 ・平成 2 2 年度東由利地域の主な事業（報告） ・小学校統合について 6 . 閉 会	
会議の経過	別紙のとおり

出席者名簿

(地域協議会委員 15 名)

役職名	氏 名	備 考
会 長	長谷山 博 昭	
副 会 長	小 松 佳 和	
	渡 辺 幹 夫	
	小 松 彪	
	伊 東 文 雄	
	鈴 木 博	
	小 松 由 子	
	高 橋 京 子	
	遠 藤 忠 平	
	小 松 耕之助	
	長谷山 光	
	佐 野 陽 子	
	畑 山 敏 男	
	佐々木 雅 廣	
	千 葉 覺	

総 合 支 所 長	工 藤 良	
主幹兼振興課長	佐 藤 順 一	
市民福祉課長	嶽 石 文 弥	
主幹兼産業課長	小 番 直 義	
産 業 課 参 事 兼 課 長 補 佐	小 野 長 清	
建 設 課 長	柴 田 和 尋	
主幹兼東光苑施設長	佐々木 喜 隆	
教育学習課長	高 橋 裕 子	
事 務 局	小 野 信 子 菊 地 勝 小助川 洋	

会議の経過

第2回 東由利地域協議会

と き 平成22年10月22日(金)

午後1時30分～3時30分

ところ 東由利総合支所第3・4・5会議室

1. 開会(午後1時30分)

2. 会長挨拶

今年度2回目の協議会に、委員20名の内15名に出席いただいた。総合支所からは支所長、各課長、担当者に出席していただいた。

今年は例年より早い稲刈りで、周りを見渡すとほとんど稲刈りが済んでいる。作柄は心配されるところであり、新聞等では1等米の割合が昨年より下がっている。

今回の会議では、資料を事前送付したが、地域づくり推進事業が大きな案件である。平成23年度の地域づくり推進事業については、広報ゆりほんじょうに掲載された記事の通り、昨年度とは変わっている。今日は、平成22年度の状況、23年度の要望状況を説明する。

また、本日の次第にもあるが、小学校統合の関係について、取り組み状況の説明がある。東由利の22年度の主な事業の取り組み状況など、多彩な案件がある。委員の皆さんからはいろいろなご意見ご要望をお願いしたい。

3. 総合支所長挨拶

平成22年度も半年を経過した。文化複合施設については若干の遅れがあるものの、来年度秋の完成には問題がない。また、由利橋通りなども変わるように、由利本荘市内の整備を進めているところである。

市の財政状況は依然として厳しいものの、平成21年度決算で13億円の実質黒字を出している。将来については心配がないよう進めている。

鳥海地域の3小学校の統合については、鳥海中学校のところで、廊下で学校同士を繋げる形になるようだ。また、道川、松ヶ崎、亀田の3小学校についても、亀田地区に建設場所が決定した。名称についてはこれからである。

災害について、東由利地域でも祝沢と法内で豪雨災害があった。8月には、大内地域、岩城地域、松ヶ崎地区で大雨の被害があったが、今のところ全市的な災害はない。

東由利地域の携帯電話の鉄塔はすでに完成している。通話については伝送路工事の完成を待っているところである。

稲作については、作柄に多少の影響がある。

八塩小学校、高瀬小学校の統合については、順調に進んでいて、平成23年4月1日から東由利小学校としてスタートする。同時に空き校舎についての話し合いを皆さんとも進めていきたい。

地域づくり推進事業について、東由利地域分は概ね順調に進んでいる。なお、平成23年度の地域づくり推進事業では改正点もある。

新年度の市の予算は今月中に提出である。来年度のご意見があれば反映したい。

4. 案件

平成23年度地域づくり推進事業について

・平成22年度地域づくり推進事業の実施報告

小野産業課参事兼課長補佐	グリーン・ツーリズム研究会事業 黄桜祭り 八塩いこいの森環境整備 東京東由利会との交流促進事業	説明
佐藤振興課長	「東由利きざくら周遊ルート」植樹祭について説明	
議長	「新緑さなぶりまつり」について説明	

- ・地域づくり推進事業補助金交付要綱の改正について
- ・平成23年度地域づくり推進事業の公募状況
- ・提案、要望の追加について

佐藤振興課長 (資料に基づき説明)

(質疑応答)

議長 資料1から3(4.案件の全て)について、質問と意見をお願いしたい。

A 委員	地域づくり推進事業は、全体で 300 万円という予算で事業が行われているが、その審査基準はどうなっているのか。
佐藤振興課長	事業主体となる団体がすでにできていること、1 / 10 の自己負担がクリアできること、地域づくりに結びついていくもの、今後も継続されていくもの、と考えている。
議長	今年度実施の事業については、昨年度の地域協議会で検討した。平成 23 年度は公募となり、団体からの申請を請け、それを市で審査した後、地域協議会に諮って決定するという流れである。審査についても、基準に合致しているかどうかで判断される。
B 委員	地域づくり推進事業の 300 万円の予算について、来年度から公募体制になり有効に活用できるのか。東由利地域では由利牛と黄桜が合併前から有名だった。黄桜ルート植樹祭について、もう少し重点をおいて来年度の予算をつけて欲しい。 次に 300 万円の予算について、残金が出た場合は、繰越は可能か。
佐藤振興課長	始めの質問については、有効活用できるよう検討したい。二番の質問については、残金の繰越はできない。単年度で精算するものである。
工藤総合支所長	残額については、いいものがあれば使っていきたいと思うが、この事業に使っている予算も市民の税金なので、絶対に使い切らないといけないという考えはない。 なお、桜の植樹の件についてだが、平成 23 年度から市の直営ができなくなった。植樹を実施してくれる方、管理をしてくれる方がいるような団体がないと難しい。なお、さくら満開まちづくり事業の基金は直営で実施が可能である。 300 万円の使い方については、より地域の活性化になるようにしていきたい。
議長	各地域の団体の代表の皆さんも持ち帰って検討していただきたい。

C 委員	地域づくり推進事業とは関係ないが、八塩ダムの入口の道路を直して欲しい。石高側から橋を通ってくる付近である。
柴田建設課長	以前、補修調査を実施した形跡があるが、平成 22 年度は田代のお寺の前付近を実施して終わった。平成 23 年度要望する。
工藤総合支所長	地域づくり推進事業については、皆さんのアイデアをよりフランクにお聞きしたい。
D 委員	空き校舎の利用の案は？
工藤総合支所長	今のところはまだ具体的には出ていない。東由利以外でも出てくる問題だ。当然、地域の意見が大事なのでこれから協議して参りたい。
A 委員	流雪溝の水について、大琴地区、蔵地区ではポンプで揚水している。しかし、それぞれの山から流れる沢の水や小川の余り水の利活用ができるようにならないか。老方地区では大堤に溜めて流雪溝に流している。一方で、館合新田側から流れてくる堰の水がもったいなく思える。館合地区と同様に、電力を使わず流せる方法を検討していただきたい。
柴田建設課長	流雪溝について、自然水を使うのが効率的なのは間違いがない。大琴地区では、冬季に沢水が不足するため揚水している。館合新田の水を老方にとということだが、夏季の渇水の際に類似のことはやったことがある。しかし冬季もとなると、跡見坂で溢れてしまう個所がある。ため池の上の土手の上を流れているが、その付近からげんき館まで水路を造らないといけないということもある。また、水利権については受益者との調整が必要で、漸次検討というのはできるが、今すぐに実施というのは困難である。
A 委員	水利組合の予算が切迫しており、電気を使わない方法を模索していると言うことでご理解いただきたい。

・平成 22 年度東由利地域の主な事業（報告）

各課長 (実施状況報告)

・小学校統合について

高橋教育学習課長 (進捗状況等を説明)

(質疑応答)

佐藤振興課長 総合支所長権限にある地域振興費 700 万円の支出状況について報告したい。これは、補助事業でも拾えないような補修等で有効に使う目的であるが、残りがあと 40 万円しかない。660 万円は全て修繕費として支出した。

議長 主な事業についての経過報告、小学校の統合について各検討委員会で検討されているようである。地域の学校が無くなり、平成 23 年 4 月から 1 校になる。皆さんからの思いで、疑問、意見をお願いしたい。

B 委員 緊急雇用について、3 人で草刈作業をやっているようだが、自治会のお盆の頃の清掃作業について高齢化で班を減らした経緯がある。これら緊急雇用の臨時職員により地元もやってもらって大変感謝しているところである。来年度もお願いしたいという要望が強いが、来年度以降はいかがか。

柴田建設課長 緊急雇用については、平成 21 年度から 3 カ年継続である。国の交付金が県に交付され、基金となる。平成 23 年度までの事業なので、ぜひ来年も要望したい。しかし、地域内全域を回りきることは難しい。来年度は今年出来なかったところや、集落から離れたところをやりたいと考えている。

A 委員 市の事業説明は収支の支出の説明であるが、収入の実態はどうなっているのか。財源について紐付きからは抜け出せるようになることが望ましい。米などの基幹産業、加工業、流通業など、東由利の産業の実態はどうなのか。統計や推進状況の資料

	はあるのか。
工藤総合支所 長	各種統計について、旧下郷・玉米という単位でまとめて、本庁に提出している。しかし、産業の推進状況については由利本荘市で一本化されている。東由利の指標といったものはない。また、市独自の統計調査は実施していない。総合支所として感覚的な認識はしているが、推進事業は数値化されているわけではない。
A 委員	危機感がある。それぞれの産業が衰退している中で、深刻に考えないといけない。もっとも、市・県・国の責任とも言い難い。個別に精査ではなく、大まかに全体像を把握しておくことで、東由利という地域単位でなんとかできる、というテーマを作っていくといけない。人口について、10年後に1万数千減少とのことだが、減り方はさらに加速すると危惧している。そういう気持ちであることを汲み取っていただきたい。
E 委員	水と緑の森づくり税について、課税するの（課税庁）はどこか。地場産業センターについても（一般に分かりやすく）説明して欲しい。
佐藤振興課長	水と緑の森づくり税は県税である。
小番産業課長	全額が県から補助金として（森づくり関係事業に）交付される。
E 委員	納税義務者について説明をして欲しい。
工藤総合支所 長	個人の場合、住民税に800円含まれている。あと、法人市民税にも入っている。
F 委員	2～3年前に協議して、800円となった経緯がある。
佐藤振興課長	地場産業センターは「ぷれっそ」のことである。
E 委員	経済状況や雇用状況が悪化しているので、市町村の事業の中

	で、業者に委託しなくてもいいようなものを、シルバー人材センターなど地域に出せないものか。
工藤総合支所長	緊急雇用はだいたい直営でやっている。
E 委員	60～70歳代の人でも仕事を求めている。団体化して、地元にお仕事を依頼するようなシステムがないものかと思った次第である。
G 委員	国道沿線でも草刈が満足にされていないところがある。最近の変化なのか、国道の状況はどうなっているのか。
柴田建設課長	市長が9月議会で答弁しているが、国交省の管理規定が一部変わり、草刈が年1回のみとなった。そのため管理状況が悪化した。
G 委員	緊急雇用について、湯楽里でも1人いるが、賃金の支払い方はどういうものか。
柴田建設課長	県から湯楽里が支払った分を交付する仕組みである。
G 委員	仕組みが難しい。 小学校の統合についてだが、将来的に宮ノ前地区からも学校はなくなると理解しているが、その後の構想はどうなのか。
高橋教育学習課長	これから意見を伺って決めて行く。中学校の改築と併せて、いくつかの案を検討していく。
G 委員	空き校舎の利活用も新しい検討会で進めていくことになるということか。
高橋教育学習課長	その通りである。
A 委員	本荘地域の文化複合施設について、駐車場が400台程度とのことだが、市内全域（旧郡部）からの参集があった場合、足

	りるのか。 次に、草刈の関係だが、本荘駅前の草刈があまりされていない。本荘駅は由利本荘市の顔なので、指導して欲しい。
工藤総合支所長	本荘駅前の清掃について、市の職員もやらせていただいている。 文化複合施設については、確かに現実に台数は足りない。市役所の駐車場も活用していくということで決まったようだ。議会と十分協議した結果であり、市役所駐車場を活用しながら、どうにかしていけるとなったものと思われる。
G 委員	当初 160 台だったが、開業時は地権者の立ち退きの関係で実質 120 ～ 140 台との話もあった。地権者も理解をもらえるようにはなったようだ。
H 委員	ふるさと保存事業（23 年度要望の地域づくり推進事業）について、地元で獅子舞があったが 40 年前に途絶えた。復活させたいとの話はあるものの先頭に立つ人がいない。獅子舞の獅子などが古くなってしまっているのも理由になっているが、50 万円では不足となるのではないかと不安である。50 万円を全額使ってもいいものか。
工藤総合支所長	伝統芸能については今年度分は要望が出ていなかった。1 年で 50 万円だが、2 年続ければ 100 万円になるので、そういう工夫していく方法がある。継続が可能である。
H 委員	篤志家の 8 mm（映像）もあり、ぜひよろしくお願いしたい。 また、提言として、他の地域では地域協議会で現場踏査しているところもあるので、東由利でも検討いただきたい。
工藤総合支所長	獅子舞については、ぜひ申請をして欲しい。地域協議会については、地域によって 5 ～ 6 回開催しているところや役員会のようなやり方にしたところもある。 地域づくりで心配されることは、八塩小学校の廃校後に行事がなくなるという心配もある。現在は学校中心で行事を行っている。地域で八塩まつりなどもやらなくなるのではと心配している。主体がだれになるのかという問題があるが、提案してい

	きたい。
I 委員	田代地区沖田橋周辺の草刈を実施して、あじさいの植栽を自治会のボランティアで実施した。その際、柳など邪魔になる木があるのだが、どうにかならないものか。
柴田建設課長	県にお願いしてみる。地元で伐採していただいてもいいのではないか。河川環境整備の予算があるが、すぐにとすることは順番もあり難しい。
J 委員	ボツメキ遊水池の案内看板がわかりにくいと良く聞くので、対応をお願いしたい。
K 委員	学校の統合で、スポ少は多くするようなことは考えていないのか。
高橋教育学習課長	子供のやりたいというものをやるということと、指導者も必要ということから、増える可能性は低いと思う。
L 委員	市営住宅でのペット飼育は可能か。
柴田建設課長	不可能。
M 委員	学校などのパークゴルフ大会では、100人も参加者がルールがよく分からないためか、他の利用者から不満の声が聞かれた。ぜひ、協会も（指導などで）利用していただきたい。
G 委員	アポイントを取りながらうまくやればよい。
工藤総合支所長	八塩山周辺について、かなり問い合わせもある。案内人を養成したらどうかという案もある。そういうことを受けてくれる人が必要となる。パークゴルフについても、協会の連絡先を学校側がわからず、一度に（学校の生徒多数が）入場してしまったようだ。
G 委員	せっかく、地域や団体の代表の皆さんが参加している地域協議会なので、フリートークのできる協議会を年に1回くらい開

催しても良いのではないかと思います。

副会長挨拶

前々回（平成 21 年度第 4 回）の協議会で、アオヤジロの話題が出た。
県の林業センターでは増やす方法を研究しているとのことであったので報告したい。

6 . 閉会（午後 3 時 3 0 分）